

児童の主体的な活動を充実させた授業づくり
～地域の「もの・場所・人」との関わりを通して～

日立市立油縄子小学校

1 はじめに

本校の学校教育目標は「自ら学び 心豊かに 心身共にたくましい 児童の育成」である。このテーマのもと、生活科の学習では、具体的な体験や児童の主体的な活動を重視し、生活上必要な習慣や技能を身につけることを主な目標としている。

子どもたちは1学期に町探検を行い、町の自然について様々な発見をしてきた。その際に子どもたちは、「どんなお店があるかも知りたい。」「お店の人に質問をしてみたい。」等という思いを膨らませていた。今回は、地域の方々や保護者の方の協力を得て、2度目となる町探検を実施し、子どもたちが地域の方々と交流する中で、新たな発見をしたり、自分自身の成長を感じたりすることができるようにしたいと考えた。

2 実践事例

(1) 単元名 わたしの町 はっけん

(2) 単元の目標

- ルールやマナーを守り、安全に気を付けながら町を探検し、もの・場所・人に、手足や諸感覚を使って働きかけ、見たり、聞いたりしようとしている。

(生活への関心・意欲・態度)

- もの・場所・人とかかわることを通して発見したことや心に残った出来事を、自分らしい方法で表現したりすることができる。(活動や体験についての思考・表現)

- 町の自然やもの・場所・人などのようすや、自分たちの生活とのかかわりに気付くとともに、自分の町のよさに気付くことができる。

(身近な環境や自分についての気付き)

(3) 単元設定に当たって

1学期に行った生活科の町探検で、子どもたちは町の自然や、冬から春にかけて変化したことを発見してきた。2度目の町探検となる今回は、自然だけではなく「もの・場所・人」に視野を広げられるようにしたい。事前学習として「見たいこと」や「聞きたいこと」を考える時間を設けることで、町探検への意欲を高めていく。

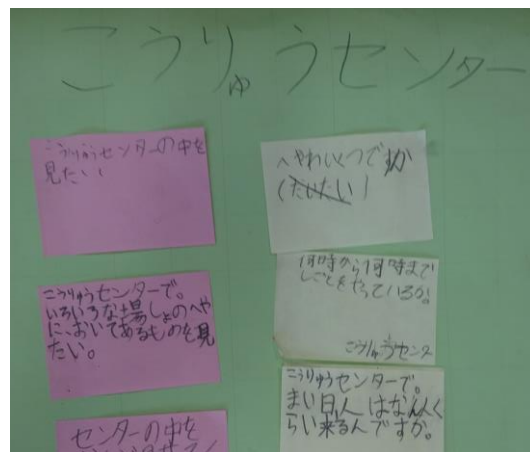
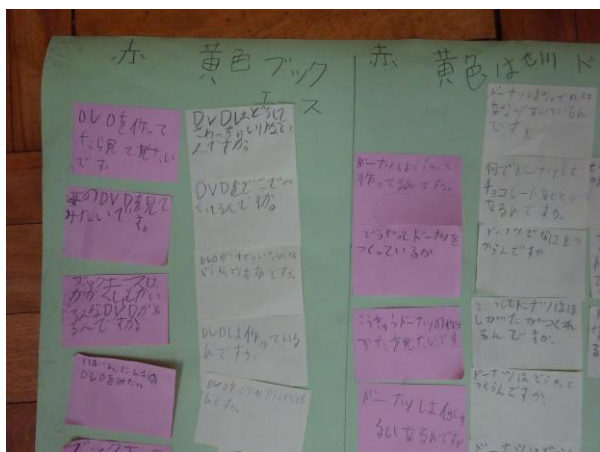
本単元を通して、自分たちの住む町のよさを発見したり、自分たちの生活とのかかわりに気付いたりすることができるよう、子どもたちの主体的な活動を重視する。そのために、自分で考えたり、班で話し合ったりする活動を多く取り入れていく。校外で班行動をしたり、地域の人に質問したりする活動は子どもたちにとって初めてのことなので、安全に活動するための約束を決めたり、見学時の挨拶や話し方も考えさせていく。

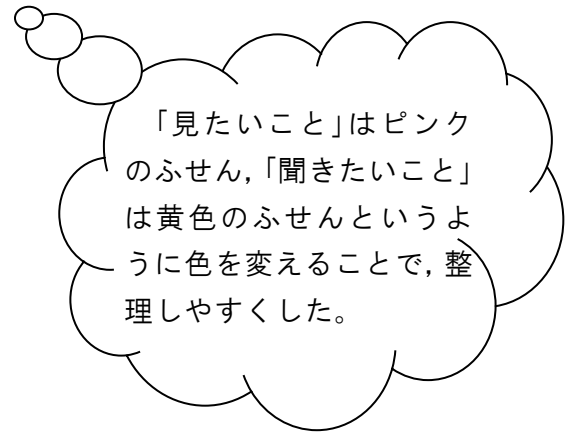
(4) 単元計画 (全 13 時間)

次	時間	学習活動・内容	評価計画			評価規準
			関 意 態	思 ・ 表	気 付 き	
1	2	・ 春の町探検で出会ったもの・場所・人について思い出し、互いに紹介し合う。	○			・ 町で出会ったもの・場所・人に関心をもって紹介しようとしている。
2	5	・ 町探検に行く計画を立てる。 ・ 見たいこと、聞きたいことを話し合う。 ・ 町探検の約束を決める。	○	○		・ 自分が行ってみたい場所を決め、出かける計画を立てたり準備をしたりしようとしている。 ・ 安全に探検するための約束や、効果的な回り方を考えて計画を立てている。
3	3	・ 町探検をする	○	○		・ 地域の人に進んでかかわろうとしている。 ・ 安全に探検する約束を考え、実行している。
4	3	・ 調べたことをまとめる。		○	○	・ 発見したことを相手に伝えるように工夫しながら表現している。 ・ 地域にある魅力的なもの・場所・人に気付いている。

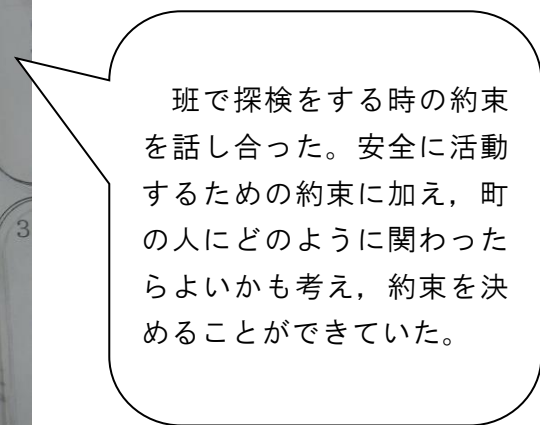
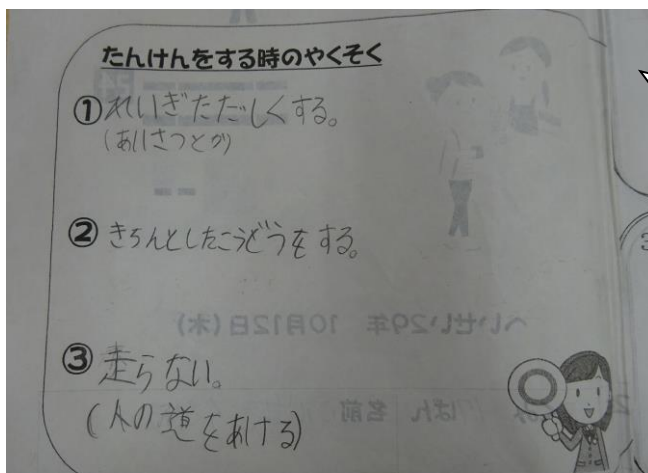
3 資料

(1) ふせんの活用





(2) 町探検の約束



(3) 町探検の様子



お店の人に積極的に話しかけたり、質問したりする様子が見られた。初めて知ることも多く、興味を持って話を聞いていた。

事前学習で挨拶や質問の練習をしたことで、自信をもって話している児童が多かった。

(4) 見つけたよカードの活用



幼稚園で働く方や、子どもたちの様子をよく見て、表現している。「見たいこと」、「聞きたいこと」として挙げたことを中心に、見たり聞いたりすることができていた。



「聞きたいこと」をもとに質問をし、新しい気づきを得ることができている。「ドキドキしながらもちゃんとと言えた。」という自分自身の成長も感じられている。

4 成果と課題

(1) 成果

ふせんを使用して「見たいこと」と「聞きたいこと」を書き出すようにしたことで、多くの意見を引き出すことができた。それぞれの意見を視覚化することで、同じ意見や似ている意見がまとめやすくなり、考えを整理することにも役立った。また、あらかじめ自分の意見を書き出していたため、普段はあまり自分の意見を言えない児童も、しっかりと話し合いに参加することができていた。その他にも、町探検をする時の約束を決めたり、効果的なルートを考えたりするなど、班ごとの主体的な活動を充実させたことで、子どもたち同士が積極的に関わり合う姿が見られた。

(2) 課題

まとめ、伝え合う時間を十分に取れなかったため、「見つけたよカード」以外にも、紙芝居や模造紙を用いるなど児童が創意工夫をして表現できる場をつくると、それぞれの児童の気づきを全体に共有することができると考える。また、地域の方々にも、町で見つけた魅力を伝える場をつくることで、自分から地域へ働きかけることができる児童を育成していくことが今後の課題である。